

原料費調整制度に基づく2026年10月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1㎡あたりの単価)で毎月調整します。なお、ガス料金負担軽減支援期間のため、政府の支援による14.0円/㎡(税込)の値引きが適用されています。

今回の調整は、2026年5月から2026年7月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

5月	6月	7月	8月	8月	10月	11月	12月
3ヵ月の平均原料価格			→		反映		
				→		反映	
					→		反映
						→	

○2026年10月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1㎡あたり)	
			2026年9月検針分	2026年10月検針分
料金表 A	0㎡から11㎡まで	786.50 円	216.54 円	226.47 円
料金表 B	11㎡超～115㎡まで	891.00 円	207.07 円	217.00 円
料金表 C	115㎡超～	1,961.30 円	197.75 円	207.68 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 54,690円/トン**

2026年5月から2026年7月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	100,400 円/トン(10 円未満四捨五入)
2026年5月から2026年7月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	123,050 円/トン(10 円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 $100,400 \text{ 円/トン} \times 0.9530$ $+ 123,050 \text{ 円/トン} \times 0.0585$	102,880 円/トン(10 円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格－基準平均原料価格)	$102,880 \text{ 円} - 54,690 \text{ 円} = 48,100 \text{ 円/トン}$ (100 円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1㎡あたりの価格変動額	0.077 円
ガス料金負担軽減支援による値引き単価(1㎡あたり)*	-14.0 円(税込)
2026年10月分検針の調整額(1㎡あたり)	$48,100 \text{ 円} \times 0.077 \text{ 円} \div 100 \times 1.10 = 40.74 \text{ 円}$ (小数点第3位切り捨て) $40.74 \text{ 円} - 14.0 \text{ 円} = 26.74 \text{ 円(税込)}$
2026年9月分検針の調整額(1㎡あたり)	16.81 円(税込)
(10月分)対(9月分)増減(1㎡あたり)	+9.93 円(税込)

2026年10月分の単位料金を1㎡あたり +26.74 円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	2026年9月分料金	2026年10月分料金	影響額
20㎡	5,032円	5,231円	+199円

※詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金支援サイト」をご覧ください。(https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp)